

## 会 議 録

件 名	第3回いわき市文化政策ビジョン策定検討委員会について
日 時	令和3年2月5日（金）14:00～15:30
場 所	いわき芸術文化交流館アリオス 3階 中リハーサル室
出席者	<p>■ 検討委員会委員（出席：11名、欠席：1名） 山口 憲二 委員長、長谷川 由美 委員、田仲 桂 委員、阿部 峻久 委員、箱崎 友清 委員、鈴木 敦子 委員、石原 万里 委員、坂本 新輔 委員、小林 裕明 委員、長野 隆人 委員、佐々木 吉晴 委員 欠席： 田村 学 副委員長</p> <p>■ 事務局 津田文化スポーツ室長、本田課長、園部補佐、伊東係長、小林係長、佐藤</p>
内 容	
<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 委員長あいさつ</b></p> <p>委員長から、前回からの議論の中で、“潮目のまち”という印象的な言葉について、これはいわきならではのメタファー（類推）であり、いわきのこれまでの文化のプロセスを説明している言葉だと思っている。“潮目”については、本日の協議でも取り上げられると思うが、本日の協議はビジョンにおいてとても重要な部分であることから、活発な意見をお願いしたいと、一言の比喩において複雑なアイデアを簡単に表現できるデスクトップメタファーの事例の紹介などを踏まえ、一言挨拶有。</p> <p><b>3 報告事項</b></p> <p>委員長)</p> <p>それでは、(1)「文化芸術関係者への個別ヒアリングについて」、(2)「意見交換ワークショップ（大学生編）について」は関連事項でありますので、一括して事務局から説明願う。</p> <p>事務局)</p> <p>～ 事務局説明 ～</p> <p>(1)「文化芸術関係者への個別ヒアリングについて」</p> <p>(2)「意見交換ワークショップ（大学生編）について」</p> <p>ヒアリング・ワークショップを行った趣旨・目的、対象、経過、主な意見、得られた成果などについて報告。</p> <p>委員長)</p> <p>事務局から説明があった事項について、何か意見はあるか。</p> <p>特になければ、協議事項に移る。</p>	

## 4 協議事項

### 委員長)

それでは、協議事項(1)「いわき市文化政策ビジョン策定スケジュール（見直し案）」について事務局から説明願う。

### 事務局)

～ 事務局説明 ～

(1)「いわき市文化政策ビジョン策定スケジュール（見直し案）」について

- ① 策定スケジュールを見直す理由について
- ② 今後のスケジュール内容について
- ③ 次年度における委員の継続について依頼

### 委員長)

事務局から説明があった事項について、何か意見はあるか。

無いようなので、当初よりスケジュールが延期されるが、引き続きお願いする。

### 委員長)

では、次の協議事項(2)「いわき市文化政策ビジョンの体系（案）について」事務局から説明願う。

### 事務局)

～ 事務局説明 ～

(2)「いわき市文化政策ビジョンの体系（案）について」

- ① 体系全体の構成について
- ② 市の文化的特徴を表す前書き“潮目のまち、いわき”の導入について
- ③ 前回の検討委員会での意見（わかりやすく、伝わりやすい言葉で）を踏まえ基本理念を整理した件について
- ④ 基本方針の分類と施策の内容、取組概要例について

### 委員長)

本日は、体系全体の協議となるが、前書きで“潮目のまち”について書かれており、次に基本理念について簡潔な文章で3つ挙げられている。そしてより具体的な基本方針が5つある形になっているが、まずは構成としてこのような形で良いか、次に内容、表現方法がこのような形で良いか意見を伺いたい。

### 委員)

ビジョンはシンプルでわかりやすいのが良いと思っており、全体の構成としてはいいと思う。ただ前書きの“潮目のまち”の考え方について、文化芸術の関係者であればいいが、ビジョンの対象としている若い人たちがすぐに馴染めるか、浸透するかを考えたときに、

基本理念に繋がる部分として、理解しがたいのではないかと感じる。基本理念はとてもいいと思うので、そこに繋がるよう、もっとシンプルでわかりやすいのが前段にあればいいと思う。次に基本方針については、2つの言葉で構成しているが、入口として、見やすく、わかりやすく1つの言葉で構成しても良いのではないかと、その方が次の施策部分に繋がりがいいのではないかと感じる。

#### 委員)

はじめに体系図の基本理念と基本方針を見て、とても見やすくまとまっていると思った。次に前書きの“潮目”の部分を読んだが、この文章は長く、内容も難しい印象を受けたが、この構成自体はとても分かりやすく、いわきの特質を“潮目のまち”として出したのもとてもいいと思った。

#### 委員長)

市民や外部の方から、今回いわき市が作ったビジョンはどんなものかと聞かれたときの答えが、この基本理念の部分にあたるのではないと思う。

#### 委員)

潮目実行委員会において、文化によるまちづくりに取り組むとき、いわきの特性である「文化の多様性」を表す言葉として、“潮目”というワードがすごくしっくりきた。だが、それを市民に説明する時、どうしても常盤ものや海に関係するところから入っていくことになり、文化事業を通して、どこかで“潮目”を浸透させる作業が必要だと思っている。どうしても初めて聞いた言葉に違和感を覚える人はいるので、5年、10年と文化事業の礎となるような事業の組み立てをしていきながら、敷居の低い、市民にも伝わりやすい“潮目”の事業を計画していてもいいのではないと思う。

#### 委員長)

“潮目”の本質は、人が交わって多様なものが生まれるところにある。いわきの場合は、海に“潮目”があるので、いわきならではのキーワードとして、とても独自性ができるものになる。よって、前書きの文章をもっとやさしく、馴染みやすいものにすればいいのではないと思うが。

基本理念については、割とどのまちでも使えるような一般的な内容に思え、エッジが効いていない印象を受けたことから、この場で提案したいと思う。

- 1 文化は国や地域のアイデンティティであり、私たちは、それを継承し発展させる義務がある
- 2 私たちは、まちづくりや暮らしのあらゆる面で文化的な価値観を大事にする
- 3 私たちは、「潮目」の伝統を生かし、多様性を尊重した文化政策を推進する

1について、まず文化はアイデンティティであることを宣言し、それを継承、発展さ

せることが大切であること。

2については、すべての行政部門で文化的な視点を見失わず、文化的価値観を縦糸・横糸のように織り込んでいくことを大切にすること。

3については、“潮目”を市民に共通理解してもらおうとともに、培ってきたいわきの文化のプロセスも“潮目”で説明し、その結果生まれてきた多様性を尊重した文化政策を推進することという意味で考えたものである。それを踏まえて意見をいただきたい。

#### 委員)

市の案について、基本的に全体の構成は良くできていると思う。“潮目”についてはこれまでも議論してきたが、基本的にいわきのまちにとって大きなキーワードとして相互理解されていると認識している。よって、いわきの文化を語るときには“潮目”を抜きに語れないということを前提にするうえで、前書きに“潮目”の概論を記載し、基本理念以下基本方針については、あまり個別的にしない方が、むしろビジョンを作った後に何か色々な展開があった場合に対応しやすいのではないかと思う。ただ今の前書きは、潮目のまち”を強調しすぎている気がする。文化そのものを大切にすることがいかに大切かを前提とし、いわきは日本の中でも稀な“潮目”をキーワードに語れる文化を持っているということを表現できればいいのではないかと思う。

#### 委員)

自分は、基本理念については委員長案が結構いいと思っている。また、一般市民には、“潮目”はあまりピンとこない気がする。現在、仕事をするうえで文化を巡る状況の厳しさを痛感しており（コロナの影響もあるが）、提案1ぐらいしっかり言ってもらえるとありがたい。前書きは、5～10年位経過して落ち着くと効いてくる、ちょっと穏やかで広い視点を持ったものだと思うが、委員長案と前書きのバランスのあり方が個人的にはいいと思う。

#### 委員)

委員長案は非常にポジティブでいいと思うが、市の案は、初心者がまず“楽しむ”ことから始まり、活動することで地域の愛着と誇りに繋がり、更に新たな可能性にチャレンジしていくといった、初心者の文化芸術活動の一連の流れになっており、且つ優しく入っていけると思う。今回のビジョンは、市民にどれだけ広げ、新しく取り組んでくれる人を呼び込めるかが重要だと思うので、入口は出来るだけソフトに、気軽に参加できる市の案がいいと思う。委員長案については、既に活動している人たちに対して必要なことだが、新しく取り組んでくれる人を増やしてくという点では難しい気がする。

次に前書きの部分だが、“潮目”はいわきのアイデンティティとしていいが、それを含めてこれから理解してもらわなければならないので、“潮目のまち”じゃないと文化ではないということではなく、自分の心に“潮目のまち”があるけれど、基本的にそれを含めて多様な活動が求められている、出来る、というバランスの部分が大切だと思う。よって、全体的に個性というよりは、取り組みやすさ、入りやすさが今回の場合は重要で、新しく

取組む人、関わろうとする人のモチベーションになればいいなと思っている。

#### 委員)

基本理念について、1番目は市の案がとても気に入っているが、2について、文化的多様性を“活かした”の部分について、文化的多様性があることが前提になっているので、これから新たに入ってくる人たちを考えると、“潮目”であり続けるということで、文化的多様性を“重んじる”とかの方がいいのではないかと。または、委員長案の“尊重した”とかの言葉の方がいいと思う。よって、2、3番目については委員長案のほうがいいと思う。

#### 委員長)

基本理念3つの中に、伝統的ないわきの文化を継承していくことの大切さについて触れているものがないので、その点についても工夫して取入れられればいいと思う。また、「ビジョン」という言葉は「ビジュアル」と同じ語源で、目指す、目標とする目に見えてわかりやすい「姿」のことを言っているのだと思う。

#### 委員長)

市の基本理念案について、「目指す」とか「挑戦する」とかで表現しており、そのうえでいわき市がどういう姿になることを望んでいるのか、また想定しているのかが読み取れなかったが、委員長案を見てとても清々しい印象を受けた。委員長案の1についても、「義務」が強い言い方なのであれば、もう少し柔らかい表現にすればいいのではないかと。全体的に表現や順番を変えて工夫したうえで、個人的には委員長案を活かしたいと思う。

#### 委員長)

「姿」が見えないとのことだが、先程言った通り「ビジョン」は「姿」なのだが、基本理念だから、ここでは「目指す」とか「挑戦する」とかで表現しているのではないかと。思う。

#### 委員)

全体的に良くまとまっていると思うが、もう少しシンプルに伝えられればいいなと文章を見て思った。先程委員が発言したように、基本方針を簡単な一つの言葉で表した方が伝わりやすいのではないかと。全体的に削れるところは削って出来るだけ一つの言葉でシンプルであるのがいい。次に“潮目”についてだが、いわきは“潮目”なのはわかるが、個人的にはあまり“潮目”にこだわらなくていいのではないかと。全体的な内容はとてもいいと思う。

#### 委員)

前書きと基本理念の関係だが、前書きで“潮目”といういい言葉を使っているが、基本理念・基本方針の中であえて使っていないのかとも思ったが、委員長案3のように“

潮目の伝統を生かし”とか、文化の多様性を表しているのので、せめて基本理念の中に”潮目”という言葉を入れてみてはどうかと思う。基本方針は、言葉をシンプルにという意見があったが、自分は逆によくこの2つの言葉に絞ってまとめたなと感心した。施策についてもこの場で触れてもいいのか。

**委員長)**

施策については、現時点では例示されていると考えてもらったほうがいいと思うが、意見があればお願いします。

**委員)**

事務局に質問なのだが、文化施設の記述に関しては、基本方針1-3に集約されていると考えればいいのか。

**事務局)**

委員長からもあったが、具体的な施策の内容に関しては今後精査していくが、基本的に文化施設の運営に関しては、この項目で触れたいと考えている。

**委員)**

文化芸術となると、美術とか舞台芸術とかのジャンルの印象が強いが、短歌・俳句をやっている主に高齢者層とかについては、どこに該当すると考えているのか。

**事務局)**

現時点では、年齢とか活動のジャンルを問わず市民の文化芸術活動については、基本方針1の中で対応できればと考えている。

**委員)**

事務局から取組概要例も示されているが、新規で取組むものとして記載されている事業はいずれもとても重要な取組みだと考えているので、ビジョンに取り入れ、前向きに事業化を考えてもらいたい。

**委員)**

基本理念に、最終的に市民一人ひとりがどういう姿になることを想定するかという点を盛り込む際、市が提案する「楽しめる」、「愛着」、「誇り」とかの言葉は行政らしい感じがする。これから長い人生を楽しむうえで何が必要かを考えたとき、「創造力」・「想像力」とかちょっと広がりのある言葉が入っていた方が、色々な人を思いやっている気がする。それはもちろん「多様性」という言葉に集約されているのだが、全部に「文化」という言葉を使わず、「創造力」・「想像力」とか広がりのある言葉をちょっと使うだけで、見え方というか、光の照らし方が変わってくるのではないかと思う。

**委員長)**

文化より広い意味で捉えてもらう必要性といった部分だろうか。どうしても目先の時代が抱える課題、問題にばかりに目が行ってしまうが、それを解決する時の人々の心の部分を文化は担っていると思うし、それ以上の人間らしい生き方をするために大切であるという訴えも必要だと感じている。

**委員)**

委員長の言う通りだと思う。そういう意味で前書きで、前提や、なぜ今回これをやるのかとか、基本的におさえておきたいことを述べれば、それに対してこういった考えをもって、こういったことをしていくという基本理念や基本方針への流れになると思う。

よって、前書きの役割としては、今回“潮目”を大きく打ち出しているが、それを含めて今回のビジョンに込めた思い、市民に知ってもらいたいことなどの前提を盛り込めば、次に出てくる基本理念に色々と盛り込まなくても、そこに自然に流れていくのかなと思っている。

**委員長)**

その通りだと思う。よって、本日の委員会で結論を出すことは出来なく、色々な意見を伺ったうえで再度事務局と詰め、次の会議でお示しする。その時、2つぐらいの案を示した方がいいかと思う。事務局案の基本理念は、「目指す」とか「挑戦する」とかの言葉で締めくくっているのが若干気になる。縦割りではなく、横串のように文化というものを行政の中に入れていくため、行政の中でも深い議論をする際は、“潮目”というキーワードをうまく使って、“潮目”の概念をメンバーの中で共有していくことが大切であり、共通言語になっていけばいいと思っている。

**委員)**

普段文化財とか過去を振り返ることが多いなか、いわきの歴史・文化は長い年月の中育まれてきたものであり、今ここにあるものすべては、それなしには語ることは出来ないと考えているが、それが今回の資料からあまり感じられない。前書きの一部では触れられているが、アイデンティティや伝統とか、長い年月をかけて育まれてきたものに裏打ちされたうえで私たちがいる、というところへの繋がりや視点が立場上欲しいところである。市民に受け入れられ、且つじっくりくるシンプルなわかりやすい言葉は何かを考え、思いつかなかったが、そういう言葉を一つ入れてくれるとより深みができる気がする。

**委員長)**

何か他にあるか。無いようであれば、今日頂いた意見を基に、私と事務局で前書きと基本理念について、2つぐらい案を考えて次の委員会に備えたいと思う。

### 委員)

様々な委員の意見を聞くうえで、委員長案の基本理念をベースに考えていたが、1番の「義務」の部分については、一般の市民は受け入れ難いのではないかと思う反面、市の案「楽しむ」の一言も物足りなさを感じる気がする。基本方針1にある「である」は機会の提供に繋がることではないかと思い、「である・たのしむ」という言葉はとても素敵な言葉だと感じ、委員長案1の中にうまくこの言葉を取り入れられればと思う。また、委員長案2の「価値観を大事にする」についても、市では基本方針2「そだてる・ささえる」を使っているが、価値観に気付いてもらい、育てて、そしてこちらが支えていくことを「大事にする」という言葉で表しているのかと思ったが、それに気付いていない方がまだ多いのではないかという印象を受けるので、委員長案の2に「そだてる・ささえる」という言葉をうまく反映できないかと思う。また自分はいわきががとても好きで、こんなに素晴らしいまちはなかなかないと思いながら、地域資源を活用する研究に取り組んできたが、“潮目”という言葉について、5年後、10年後に愛せる言葉になるかと考えたとき、「価値観」だったり、「多様性」を表す言葉であることはわかっているが、どうしても「区切れ目」、「境目」という印象が先立ってしまい、この先20年後とかに一般の人に浸透し、愛せる言葉に移り変わっていきけるかを考えたとき、個人的には難しいのではないかと思っている。

### 委員長)

“潮目”を愛されるような、皆が口にするような言葉にしようということではなくて、概念を説明するときの重要なツールかなという気がする。

### 委員)

いわきの地政学的な位置づけも踏まえ、“潮目”を前書きに持ってきたのはいいと思う。中段以下の部分が本題で、基本理念に繋がるように、若干表現を変えた方がいいとは感じるが、「“潮目のまち”いわき」を前面に出したのは非常に良いと思う。

### 委員長)

それでは、今までの意見を踏まえ、十分検討したいと思う。

では、5その他について、事務局から説明願う。

### 事務局)

～ 事務局説明 ～

(1)「いわき市文化政策ビジョン策定検討委員会の議事録等の公開について」

- ① 第1回、第2回の議事録について、本委員会の了承をもって市HPで公開することについて
- ② 第3回については、第4回の委員会です承を得て公開することについて

**委員)**

施策の内容について聞きたいのだが、自分は施策4の文化財関係を重点的に見ていて、文言等の記載の仕方に気になる所がある。参考資料に記載してある施策の主な内容の「有形指定文化財の適切かつ良好な状態での保存・保護」において、文化財に「指定」を付けている点と、「適切かつ良好な状態での保存・保護」とは具体的にどのようなことを想定しているのか。また「伝統芸能などの無形民俗文化財の次世代への継承」について、「伝統芸能など」に含まれるものは何であるか。無形民俗文化財と同一という認識で良いかを確認したい。

**事務局)**

無形文化財等の保存、活用等もビジョンの施策の対象となることなので、指摘のあった文言等について、これから内部で精査していく予定である。

**委員)**

では、「有形指定文化財」の「指定」と限定されている点について、「指定」の記載は無くすということによいか。

**事務局)**

そうなります。

**委員)**

デジタルミュージアムについて、新聞で見気になっていたのだが、この事業をすることになった経緯、制作の仕方、ランニングコストなどの見込み、更新作業の仕方など、今わかる範囲で教えて欲しい。

**事務局)**

デジタルミュージアム事業については、時代背景やコロナウイルス感染症の状況を踏まえ、市内には様々な施設が点在しているが、地理的状况からなかなか一度に訪れることができないことから、これを一つの入口として展示物などをオンライン上で紹介したいと考え、事業の構築をはじめたところである。その他詳細については、次年度検討するところからはじめる予定でいる。

**委員)**

取組概要例として記載してある、「有形指定文化財のデジタルアーカイブ化の推進」の「指定」という言葉を無くして、「指定」、「無指定」に関わらずアーカイブ化を進めるということによいか。

**事務局)**

予算の都合もあるので、まずは指定文化財から取組むことになると思うが、追って無

指定の文化財についても取組んでいきたいと思う。

#### 委員)

施策の主な内容の項目で、「文化財保存活用地域計画の策定」とあるが、地域計画は、指定・無指定を問わない悉皆調査が前提となるため、ここでは有形・無形文化財という指定のイメージのある言葉は使わない方がいいと思う。自分たちは「有形・無形文化遺産」や「地域文化遺産」とか、「文化遺産」という言葉を使っており、その方が幅を持たせた考え方になるのではないか。また悉皆調査により、どこに何があるのかを把握することが、その他の施策にある災害等における文化財の適切な保存・保護などに繋がっていくのではないかと考えている。施策の内容について、今後議論する場はあるのか。

#### 事務局)

全体のつくりとして見てもらうのは、次回の4回目になると思う。これから事務局で実際に作りこんでいく段階において、文言の表現や書きぶりについては、個別に相談させてもらえればと思う。

#### 委員長)

施策の具体的な内容については、専門的な面がかなりあるので、検討委員会において議論するのは難しいと感じる。

#### 事務局)

具体的施策に関しては、かなりの容量があるので、委員の皆様にご協力いただきながら、必要に応じて個別に相談させてもらいたい。

#### 委員長)

今日協議できなかった部分で何かあれば、事務局に直接お願いする。  
以上で第3回の検討委員会を終了する。

## 5 閉 会